

令和6年度 学校自己評価表

北九州リハビリテーション学院

1 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
学校における職業教育の特性は何か	4	3	2	1
社会経済のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想・などが保護者等に周知されているか	4	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	3	2	1

(1) 課題

社会経済のニーズに関するアンケートは実施していない。業界のニーズについては教育課程編成委員会において委員からの意見を踏まえて教育目標、育成人材像を作成中である。

(2) 今後の改善方策

社会経済のニーズ把握のため、関連企業、行政を対象に調査アンケートの実施を検討する。業界のニーズについては引き続き教育課程編成委員会を活用し、リハビリテーション分野における有識者である委員の意見を参考に教育目標、育成人材像を作成する。

(3) 特記事項

教育理念・目標など全般的に、学生便覧やパンフレット、ホームページ等に掲載し示している。近く改変される指定規則改定に合わせ検討を進めている。

2 学校運営

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	4	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

(1) 課 題

学院運営に関して、ほぼ適切に行われているが、人員、役職変更により更なる効率化の必要があると思われる。

(2) 今後の改善方策

更なる業務の効率化を目標に運営組織や、教務・財務等の組織整備など意思決定システムの整備に注力する。

(3) 特記事項

学校運営全般は、職員会議や管理職による運営会議、また法人内施設が一同に集まる全体会議を開催して検討をしている。

3 教育活動

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	4	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか	4	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
関連分野に関する業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するマネジメントが行われているか	4	3	2	1
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	3	2	1
教員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

(1) 課 題

理学療法士・作業療法士指定規則変更に対応したポリシー（アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー）の改定が必要である。これによりカリキュラムマップを作成し、合わせてカリキュラムツリーで示し、系統的かつ段階的な教育を行う必要がある。

(2) 今後の改善方策

学院の教育理念を根幹に、ポリシー（アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー）の改定を行う。

(3) 特記事項

教育課程編成委員会の助言により、本学院のカリキュラム検討委員会で進捗中である。

4 学修効果

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

(1) 課 題

年度により資格の取得率、退学率の増減がある。卒業生情報は同窓会と情報共有をしているが、公的な情報提供（新聞やテレビなど）以外は本人からの申請はなく情報収集は困難な状況である。

(2) 今後の改善方策

国家試験の結果、退学者の退学理由を基に振り返り、原因を明確化し改善に取り組む。卒業生との情報共有については、さらに同窓会との関係を密にする。また、今年度より卒後研修を開催した。

(3) 特記事項

就職率は開校以来 100%である。
就職に際して事前の就職トレーニングセミナーやガイダンス等を実施している。

5 学生支援

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1

(1) 課 題

在校生への学生支援は概ね適切に整備されているが、卒業生への対応は課題である。再就職相談において受け身であり、広く支援としては行っていない。また明確な社会人のニーズについて調査していない。

(2) 今後の改善方策

卒業生との関係性を構築するために、同窓会との情報交換を密にする。また、卒業生支援として研修会などを開催する。社会人のニーズ把握のため、卒業生を中心に調査アンケートの実施を検討する。

(3) 特記事項

学生健康管理は年 1 回の健康診断や実習に際して抗体検査等を行い、必要であればワクチン接種等を行っている。

学生情報については、気になる学生については面談歴や職員会議や学生管理簿（学内イントラネット）で共有している。

6 教育環境

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

(1) 課 題

特になし。

(2) 今後の改善方策

特になし。

(3) 特記事項

教育環境について第三者委員会から「教育評価認定審査」を5年毎に受けて承認されており
教室配置や時間割、シラバス等は専修学校報告書にて提出している。
防災訓練等は計画して適切に実施している。

7 学生の受入募集

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
学生募集は適正に行われているか	4	3	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

(1) 課 題

特になし。

(2) 今後の改善方策

特になし。

(3) 特記事項

物価の高騰により教育資源が上昇したことにより学納金は増額した。募集要項やパンフレットなどに学納金や国試合格率、就職率は明示して入試科目条件も記載している。

8 財務

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

(1) 課 題

学生数の減少により中長期的な財政基盤が安定しているとはいえない。予算・収支計画においても同様である。

(2) 今後の改善方策

入学者の増加と退学・留年学生の低減を図り、学生数の確保に注力する。合わせて、経費削減も実施する。

(3) 特記事項

経費削減について会議はペーパーレスで開催するなど各部門で工夫をしている。会計監査は実施され、財政公開はホームページにて掲載している。

9 法令等の遵守

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

(1) 課 題

特になし

(2) 今後の改善方策

特になし

(3) 特記事項

養成校設置基準等の法令に沿って適正な運営をしており、申請書や届け出は適切に実施して関係書類の保管もしている。個人情報に関しては入学オリエンテーションで詳細に説明して遵守している。自己評価についてはホームページに掲載しており適切に実施している。

10 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

(1) 課 題

コロナウイルス感染症拡大以降、依然 WEB での研習会が多く、学院を使用した地域公開講座・教育訓練等の要請はない。

(2) 今後の改善方策

地元自治体と協議し、自治体の行事などに積極的に関わる体制を整えている。

(3) 特記事項

要請があれば企業団体に対し施設貸出しなど活用できるよう体制を整えている。